

令和7年4月 教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和7年4月15日（火）午前10時00分から		
開催場所	田原本町役場 301会議室		
出席者	教育委員会 （教育長）大村泰弘 （委員）眞田和則 榊井歌世 岡本春江 山田育弘 事務局 森教育部長 森川教育総務課長 安倍教育総務課付課長 久保文化振興課長 山田教育総務課指導主事 中村教育総務課指導主事 奥谷教育総務課課長補佐 澤田文化振興課課長補佐 西嶋文化振興課課長補佐		
欠席者	なし		
開催形態	公開	傍聴者	1名
次第	報第1号	田原本町立学校評価の報告について	承認
	報第2号	令和6年度不登校いじめ・やすらぎ相談室活動・不審者情報の報告について	承認
	報第3号	田原本町指定文化財の指定に係る諮問について	承認
	報第4号	田原本町子ども読書活動推進協議会委員の委嘱及び任命について	承認
	議第1号	田原本町学校・幼稚園規模適正化検討委員会への諮問について	可決

議事の内容

教育長

ただいまから4月の教育委員会定例会を開会いたします。

本日は委員の皆様全員の御出席いただき、私を含め5名の出席があるので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条の会議の開催要件である過半数の出席がありますので、会議が成立することを宣言いたします。

○報第1号 田原本町立学校評価の報告について

教育長

それでは報第1号について事務局より説明を求めます。

（事務局説明）

教育長

委員の皆様、何かご質問等ございませんか。

岡本委員

認定こども園平野幼稚園のところで、「W i - F i 環境がない中で」と書いてありますが、平野幼稚園は今年、W i - F i 環境になるということですか。

教育総務課長

平野幼稚園は去年、今年にかけて放送教育の発表をするというところで、特にW i - F i 環境の整備というのを要望されておりましたが、今年度につきましても、線を引くこと

で対応していただくことを予定しております。

岡本委員

今年度はないということでしょうか。

教育総務課長

今までも、全く使えなかったわけではないので、それと同様の対応をお願いすることになっております。

榊井委員

南幼稚園で評価Cというのが、あまり他では見られませんが、文章読ませていただいたら、「幼小の連絡で時間が取れなかった」という、単純なCという評価かなとは思いますが、もしわかっている事がありましたら教えていただけたらありがたいです。

教育総務課指導主事

お聞きした範囲ですけれども、初めに目標を立てて取り組みましたが、思った以上の成果は出なかったという意味のCだと聞いています。心配な様子は聞いていませんが、幼稚園もコロナの影響で色々な制限があった中で、滞っていたものが再スタートし、「もっと積極的にやっ払いこう」という意欲の表れということで捉えていただけたらと思っております。

教育長

報第1号よろしいですか。ありがとうございます。

○報第2号 令和6年度不登校いじめ・やすらぎ相談室活動・不審者情報の報告について

教育長

続きまして報第2号について説明をお願いします。

(事務局説明)

教育長

ご説明ありがとうございます。委員の皆様、ご質問等ございませんか。

眞田委員

先ほどの学校評価のところでも出ていましたが、中学校の子の不登校の割合が県や全国の倍ぐらいあり非常に大きな課題と思っています。ことあるごとに私も発言し、対策を考えていただき進歩した部分もあると思いますが、まず不登校にならないようにすることができれば一番良い。幼少中の学校同士が連携しながらこどもの様子を丁寧に見る。特に小学4年生前後で勉強が分からなくなって学校に行きにくいとならないように、学校に行きしっかり勉強ができる、勉強がわかるということも重要と思っています。そのためには、それを教える先生方の授業をする力や家庭との連携など細やかな配慮が大事になってきます。先生同士が情報交換をし、授業の研究をして、授業力を高めることが田原本町には必要な気がする。それがひいては田原本町の学力の底上げにも繋がっていくような気もします。

あと、前にも言いましたが、不登校を無気力や家庭の問題といった捉え方をしている場合がまだあるのではないかと思います。むしろ担任の対応の仕方によって不登校になるケースも実際ありますので、先生自身も謙虚に自覚していく必要があるような気がします。一方で、不登校になったとしても、放置をせず手を差し伸べる居場所づくりも進歩し、やすらぎ教室や相談もあります。そこに繋がっていない子もいると思うので、そういった子を放置しない姿勢を強く持たなければ、高い不登校の数値のまま新しい学校を作ったとしても誇れないと私は思っています。不登校については、教育委員会で全力を挙げて

取り組んでいていただきたいし、私たち教育委員も意見を言うが協力もしていきたい。ここで認識の共有をしていきたいと思っています。

教育長

ありがとうございます。校園長会等で今のご意見を伝えさせていただきます。
他にご意見ありませんか。

梶井委員

不登校以外の欠席（病気・その他の合計）が多いようですが、家庭・環境の問題が多くを占めているのか教えていただきたいです。不登校の数が増えています、水面下の数が表に出てきているということもあると思います。やすらぎ教室でも相談ができるといった環境が少しは良くなったのかと思います。ただそこから先が大変で、学校や行政だけではなく、私たちを含め周りも手伝わなければならないと思います。小学校は地域との連携やつながりが深まっていますが、中学校は地域との連携がどうなっているか教えていただきたいです。

教育長

ありがとうございます。不登校以外の欠席のことで回答ありますか。

教育総務課指導主事

昨年まで小学校にいた中で思いますのは、病気欠席について体調不良で休ませることが非常に多いご家庭が多くございました。例えば、兄が休んだから弟も一緒に休ませるといったことや、本人は元気でも出席を控える傾向もありましたし、以前に比べると欠席のハードルが若干低くなっているように思います。

岡本委員

不登校への理解やメンタルケアについての研修など、地域の人を対象とした場があったらいいなと思っています。不登校に対して気になっている方も私の周りにもいらっしゃいますが、どのように声をかけをすればよいかわからない方もいるので、そういった機会があれば何かヒントを得られるのかなと思います。不登校に対して何かケアができる専門職のような不登校相談員みたいな人になれるような研修会があれば、私も行きたいと思いますので、地域の人たちを巻き込んでいくのだったら、そういった方向で町に動いていただきたいと思っています。

教育部長

教員向けの研修会はさせていただいていますが、地域の方を対象にしたものは今の時点ではできていないのが現状でございます。今後は他市町村の取り組みなども参考にしていきたいと思っています。不登校の保護者のケアというのは、やすらぎ指導員の方たちが先頭に立って頑張らせていただいています。その他の不登校対策についても実施していきたいと現在考えております。

眞田委員

文科省の不登校に対する考え方も非常に柔軟に変わってきているし、現場の先生方も勉強する機会があってもいいのではと思います。例えば夏休みに教職員を対象とした不登校に関する研修を開き、その研修に保護者や関心ある人も来ていただいて一緒に勉強しても良い気がします。

教育長

ありがとうございます。教員を対象とした不登校の研修については夏休みに各校で必ずしていますが、委員がおっしゃったように青垣生涯学習センターで合同の研修をすれば、保護者の方も参加しやすいのでは思いましたので、ひとつの参考にさせていただき

ればと思います。それと、先ほどの榊井委員がおっしゃった中学校の連携について、回答をお願いします。

教育総務課指導主事

中学校では、地域の方に社会や職業のことを教えてもらい、社会に出て生きていくための力をつける協力をお願いしています。出前授業や、生徒が出向いて一緒に体験させていただく職場体験などが中心と感じています。

山田委員

小学校時代に不登校だった子が、同級生数名が声を掛けたら中学校に行った例がありました。難しい匙加減だと思いますが、先生だけではなく子どもたち自身の力を使って一緒にできる方法があるのかなと思います。

教育総務課指導主事

自然に関わっていく子どもたちがいることが力になることもあり、教員が声をかけるよりも周りの子どもが声をかけて足が動くことがある。子どもたちの力を大事にしたいと思っています。

榊井委員

子どもは地域の宝です。私の周りの地域の同年代の人で手伝いたいという方がいます。他町では、放課後の空き教室で地域の方が勉強を教えるといったこともあるようですので、田原本町でもそういうものをできないかなと思っています。よかったら、一緒にお願いしたいと思います。

眞田委員

地域の高齢者で子どもに関わりたい方もいると思う。それをつなぐネットワークを作ることが大事。学校や教育委員会などがうまくつなげると大きな力になると思うので、役所でも一緒になって協力していく体制を作っていただきたいと思います。

教育長

ありがとうございます。子どもは地域の宝という言葉は、ここで共有するのはもちろんのこと、校舎長会の時にも、必ずこの言葉を学校でも共有してほしいということで申し上げます。

報第2号、よろしいでしょうか。ありがとうございました。

○報第3号 田原本町指定文化財の指定に係る諮問について

教育長

続きまして報第3号説明をお願いします。

(事務局説明)

教育長

ありがとうございました。それでは委員の皆様、ご質問ありますでしょうか。ないようですので、報第3号については以上といたします。

○報第4号 田原本町子ども読書活動推進協議会委員の委嘱及び任命について

教育長

続きまして報第4号説明をお願いします。

(事務局説明)

教育長

ありがとうございました。報第4号につきまして、ご質問ありましたらお願いします。

ないようですので、報第4号については以上といたします。

○議第1号 田原本町学校・幼稚園規模適正化検討委員会への諮問について

教育長

議第1号について事務局に説明をお願いします。

(事務局説明)

教育長

ご意見等ございませんか。

眞田委員

委員会の発足はいつですか。

教育総務課長

承認いただきましたら、委員会のメンバーが決定するのが4月末頃になるかと思えます。5月後半に1回目を開催できるように検討しておりますが日程調整等もありますので、予定ということで考えております。

眞田委員

幼稚園と中学校同時ですか。

教育総務課長

会議の中で並行して両方の検討をしていただこうと思っております。

教育長

他にご質問等ございませんか。

それでは採決に移ります。議第1号に賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手する者あり)

教育長

全員賛成と認めまして、議第1号を可決いたします。

○その他

(通学路危険箇所の要望と対応について)

(5月定例会の日程について)

教育長

以上で議事は終了いたしました。これをもちまして、4月の教育委員会定例会を終了させていただきます。ご協力どうもありがとうございました。

午前11時27分 閉会

田原本町教育委員会
教育長 大村 泰弘